

1 事業の名称	若鮎プロジェクト事業		事業費	444	千円
2 事業の概要	○キャリア教育 ①進路体験ツアー（1学年） ※全生徒を対象にして、大学・短大、専門学校、企業見学を実施。 ②難関検定試験対策ゼミ（希望生徒）				
決算内訳	（別表のとおり）				
3 事業の成果	○キャリア教育関係 ①進路体験ツアー（1学年） キャリア教育としては、1学年は3年後の進路を考え、大学、専門学校と企業見学を組み合わせた5コースを設定し、希望するコースを見学した。生徒たちは、見学先で担当者から説明や案内を受けるだけでなく、企業独自の様々な模擬体験なども体験し、進路先の認識を深めた。 ②難関検定試験対策ゼミ（希望生徒） 「日商簿記検定2級」と「ITパスポート」の資格取得希望者に対しての講座を開講した。その結果、「日商簿記検定2級」で6名の合格者を出すことができた。				
4-1 目標達成度 （設定目標値への達成状況）	A	A（81%以上の達成状況） B（60%～80%の範囲内の達成状況） C（50%程度の達成状況） D（30%以下の達成状況）			
4-2 目標達成度の根拠	①訪問先での様々な説明や体験を通して、大学・短大・専門学校での学習内容やそれぞれの特徴や違いを具体的に知ることができ、自分のなりたい職業に就くためには何が必要なのかということを考えさせる契機となった。 ②難関検定試験の対策ゼミを開講することで、生徒に「日商簿記検定2級」「ITパスポート」という高度な内容の学習を提供することができ、より高い目標をもちそれに向かって努力させる契機とすることができた。				
5 生徒の感想・意見 （箇条書きで簡潔に記入）	進路体験ツアー ・大学の設備のすごさに圧倒されました。PCやAV機器が充実していて、先生が目の前で自分に向けて説明してくれているようで、とても驚きました。 ・大学や専門学校に行きました。大原では、医療事務を体験しました。受付のやり方を学びました。体験ができたのは良かったです。大学も専門学校もそれぞれの魅力がありました。この体験をもとに進路先を決めていきたいです。とてもためになりました。 難関検定対策ゼミ ・初めて日商簿記検定を受けましたが、受けてみて自分の勉強不足をすごく実感しました。 ・このセミナーを受けて良かったです。このセミナーを受けていなければ、自分の苦手なところができるようにならなかったからです。				
6 担当者の意見 （箇条書きで簡潔に記入）	進路体験ツアー ・1年生ということもあり、まだ進路が明確でない中、漠然と「就職」・「進学」とイメージしていた生徒たちにとって、大学・専門学校を見たことによって、自分のなりたい職業に就くためには、何が必要かと言うことを考えさせる契機になった。 ・大学と専門学校の両方を見学・体験したことで、それぞれの魅力や学習内容について比較検討することができた。そこから自分にはどちらの学校が向いているか考える一助となった。 ・狭い生活圏内で行動している生徒たちにとって、遠方の学校を見学したことで視野が広まり、新しい価値観を持ち、行動半径を広げようと思わせる契機となった。 難関検定試験対策ゼミ ・大変わかりやすい説明で、教科指導をする上で参考になった。 ・今年度は受験者数を増やすことができたので、受験日までに更に学習を継続させ一人でも多くの生徒を「ITパスポート」に合格させたい。				
7 成果の公開方法	2	1（学校のwebページ） 2（冊子等の印刷物） 3（教育委員会ツイッター、いばキラTV） 4（その他及び複数の方法で公開）			
	1	1 広報に当たって新たな工夫を取り入れた 2 広報に当たって特に新たな工夫は取り入れていない			
8 その他の記述					